

前橋工業高等学校 学校評価一覧表②（令和2年度版）

（様式2）

表の見方 具体的数値項目 A: 充分達成できた B: 達成できた C: もう少しで達成できた D: 達成できなかった

評価対象	評価項目	針	盤	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
				①	②	③			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	A	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が90.9%である。 ・分かり易い授業や第一志望の進路実現に向けて努力する。	・それぞれの評価項目に対し学校・校長先生をはじめ教員全体で積極的に取り組んでの高い評価になっている事に感謝申し上げます。 ・コロナウイルス感染症対策のためにインターンシップを中止せざるを得なかったことは残念です。インターンシップにより実戦的な経験を積むことは、進路を考える上で大切な財産となるので、再開が可能となったときには過去の実績以上に推進されることを期待します。 ・手作り電気自動車の競技大会は、前橋工業高校からスタートしたと記憶している。10年間近くの継続に賛辞を送りたい。電気自動車の時代が間近に迫っていることを考えると、まさにタイムリーな企画であり考案したことに敬意を表したい。このような活動はスポーツに比べ地味ではあるが、前橋工業高等学校の大きな特色の一つである。	・進路の第一志望実現に向けて、1年生より自分の将来にむけたキャリア教育を推進し、学習意欲の向上や授業に対する取組を改善したい。 ・来年度実施できるように準備を進めたい。	
			未	未	未	・コロナウイルス感染症対策のため、本年度は中止。			
			B	B	B	・ものづくりについて、各科で熟慮を重ね取り組んでいた。コロナ過の中で、軒並み大会が中止など大変苦労していた。大会は技能五輪大会・電気自動車大会などに出場し検討していた。各大会が、中止となり目標が無い中でもものづくりについては、前向きに努力していた。			・大会中止など様々な出来事が有、なかなか取り組みができない状況にあった。通常に戻り各科の協力により、ものをつくる取り組みを行っている。
			B	B	B	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が84.1%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。			・授業確保をしながら、行事を精選し、生徒が主体的に活動できる学校行事や生徒会行事を行い生徒が満足感を持てるような教育活動を実践する。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	A	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が93.3%である。 ・分かり易い授業や第一志望の進路実現に向けて努力する。	・高成果に対して低い結果になっている項目は、生徒の意欲向上に期待致します。 ・学習指導の満足度が生徒・保護者ともに高く、校内を見学した際にも、生徒が真剣に授業に取り組んでいる姿が好印象でした。 ・生徒の到達度に応じた学習指導は教材が多岐にわたるため作成に時間等が多く消費されるが、先生方の粘りと努力で頑張っており継続していただきたい。	・すべての職員がステップアップサポート事業により、学び合い、アクティブ・ラーニングなど多様な学習形態を提供し、魅力ある授業を展開できるよう取り組む。	
			A	A	A	・2学期の欠点保持者数が6.09%である。長欠者が欠点が多い。			・評価基準、テストの平均点の到達目標が教員個人個人で差があるため、特定の教科で評価が高かったり低かったりすることがあり、統一した見解で評価をつけることに取り組むたい。 ・長欠者が登校できるよう学校全体で取り組みたい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度行っている。	A	A	A	・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。	・コロナ感染症対策に取り組む中で、生徒の学校生活の指導もご苦労が多いと思います。 ・不登校傾向の生徒も増えている様子とのことで、長引くコロナ禍でストレスを抱えている生徒のフォローをよろしくお願いします。 ・「不登校傾向の生徒が増える傾向にある」が気になる現象である。該当する生徒の日ごろの環境状況を調査して対応して頂くことをお願いしたい。	・各係、スクールカウンセラー、臨床心理士と連携して支援体制を確立したい。	
			B	A	A	・年度当初の臨時休業やコロナ禍の影響により、悩みや不安を抱え不登校傾向の生徒が数名いたが、学校と家庭で連携を図ったり、教育相談やSC等の支援により登校意欲を高揚することができた。また、全般的に生徒・保護者の規範意識も高く、前年度比約82%の遅刻数であった。			・中高情報交換会における生徒の支援に関する情報を共有し、「指導・支援計画書」を作成し、入学直後から組織的な支援等を実施すると共に、家庭との連携を強化する。また、必要に応じて教育相談やSC、関係機関等と連携を図り対応する。
			未	D	D	・新型コロナウイルスの影響で医療機関への受診率が低下している影響が本校生徒にも顕著に表れている。			・早期に受診する必要がある生徒へ医療機関の受診方法等について個別に相談を受ける体制を整えると同時に、家庭への協力依頼の方法等を検討したい。
			A	A	A	・各学期毎に「学校生活アンケート」の実施、必要に応じた個別面談や聴き取り等を実施することで、いじめの早期発見に努めた。全校集会が実施できなかったが、生徒指導だよりや学期毎に放送でいじめ防止を啓発することができた。			・「いじめ防止基本方針」「いじめ防止対策推進法」について、HPや保護者集会等で提示し周知を図ると共に、生徒・保護者の理解・協力を得るようにすることで、連携を深めて、いじめ防止に繋げる。学期毎のアンケートや必要に応じた個別面談や聞き取り等を円滑に行う。
5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。	B	A	A	・HPや生徒指導だよりにて周知を図ったが、全校集会が実施できず生徒への浸透具合には疑問が残る。	・「いじめ防止基本方針」「いじめ防止対策推進法」について、HPや生徒指導だより等で提示し周知を図ると共に、生徒にいじめ防止意識を高揚する。			
		未	D	D	・臨時休業により「ケータイ安全教室」は実施できなかったが、1学年に対し「高校生のためのインターネットセミナー」を実施することができた。また、2・3学年には資料を配付するとともに、生徒指導だよりにて啓発を行った。		・全校集会等が実施できない現状を鑑み、HPや資料による効果的な啓発活動を模索すると共に、学年ごとの開催や、少人数でのワークショップ等の形態で情報教室を実施する。		
		未	D	D	・コロナ禍で部活動の大会中止や活動の自粛など様々な影響があったが、感染症対策や予防をしながら生徒達は活発に活動していた。また、大会中止の影響があっても活動環境を整えるという観点から部費の維持や部室の定期点検も実施してきた。何より、感染対策を徹底して体育行事（体育祭）も実施できて良かった。		・新年度のガイダンスや新入生歓迎会、部結成までの見学期間を十分に設定する等、新年度行事が滞りなく実施できるよう各部活動と連携しながら計画し、加入率の向上に繋げていきたい。		
6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	(11) 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	A	A	A	・新型コロナ感染拡大の防止策を講じた上で、進学や就職にも十分対応できる支援体制に努めることができた。また、本校の進路指導計画や取組についても見直しや精選することができた。	・コロナ禍で予定通りに行えなかった行事もあるとのことですが、対策を講じてガイダンス等を実施するなどのご苦労が、生徒が進路について真剣に考えることにつながっていると思います。また、保護者への情報提供も様々な方法により行われており、それが高い満足度につながっていると思います。 ・生徒に多くの選択肢を提供していることは、非常に有意義なことで有り、評価させて頂きたい。致し方ないことではあるが、実践を伴うインターンシップの取りやめが何とも残念なことである。	・進路指導部の基本方針である「生徒の能力や資質を伸ばせるよう全職員が共通理解を図り、計画的・系統的な進路指導を行う」を次年度も継続させる。また、進路指導の年間指導計画を適切に見直す。 ・保護者や地域社会の要望を取り入れながら、キャリア教育及び進路指導の推進を図る。		
		B	B	B	・将来を考えた学習指導を行い、主体的に進路を選択し、自己実現を図っていくことができる生徒が、年々増加している。			・進路意識を高められる取組や基礎学力の向上を図り、第一志望の進路実現100%を目指す。また、組織的な進路指導体制の充実にも努める。	
		未	B	B	・コロナ禍で部活動の大会中止や活動の自粛など様々な影響があったが、感染症対策や予防をしながら生徒達は活発に活動していた。また、大会中止の影響があっても活動環境を整えるという観点から部費の維持や部室の定期点検も実施してきた。何より、感染対策を徹底して体育行事（体育祭）も実施できて良かった。			・新年度のガイダンスや新入生歓迎会、部結成までの見学期間を十分に設定する等、新年度行事が滞りなく実施できるよう各部活動と連携しながら計画し、加入率の向上に繋げていきたい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	A	A	A	・新型コロナ感染拡大の防止策を講じた上で、進学や就職にも十分対応できる支援体制に努めることができた。また、本校の進路指導計画や取組についても見直しや精選することができた。	・進学や就職などの進路に関する情報について、生徒や保護者が必要な情報を得られるように配慮した。特に、Webページを利用した進路指導については定期的に配信し、相談しやすい体制を整備した。ハローワーク等の関係機関と連携を強化し、必要な情報収集に努めることができた。	・保護者や地域社会の要望を取り入れながら、キャリア教育及び進路指導の推進を図る。	
			A	A	A	・将来を考えた学習指導を行い、主体的に進路を選択し、自己実現を図っていくことができる生徒が、年々増加している。			・進路意識を高められる取組や基礎学力の向上を図り、第一志望の進路実現100%を目指す。また、組織的な進路指導体制の充実にも努める。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	A	A	A	・コロナウイルス感染症対策のため、本年度は学校説明会等中止。	・コロナ禍で制約が多くありますが、ものづくりに携わる人材を教育・育成している前橋工業高校の役割を広く地域・県民に伝えていくことはとても大切だと思うので、工夫により情報発信を積極的に行っていくください。 ・積極的な広報活動を高く評価したい。次世代を担う若者が夢と希望を持って高校入試に挑戦するような、群馬県立前橋工業高等学校であり続けてほしい。	・来年度実施できるように準備を進めたい。 ・全校3者面談も定着している。今後も保護者との連携を深めたい。	
			A	A	A	・6月8日から6月19日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・修学旅行は中止となったが、説明会を開いた。			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(18) 学校の教育活動の人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	未	未	未	・コロナウイルス感染症対策のため、本年度は中止。	・来年度実施できるように準備を進めたい。 ・積極的な広報活動を高く評価したい。次世代を担う若者が夢と希望を持って高校入試に挑戦するような、群馬県立前橋工業高等学校であり続けてほしい。		
			A	A	A	・6月8日から6月19日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・修学旅行は中止となったが、説明会を開いた。		・全校3者面談も定着している。今後も保護者との連携を深めたい。	
			未	A	A	・コロナウイルス感染症対策のため、本年度は中止。		・来年度実施できるように準備を進めたい。	
20 PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	(20) PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	未	A	A	・ホームページのリニューアルを行い、更新回数とアクセス数向上につながった。	・ホームページの更なる活用を進めたい。 ・各係や各科、部活動によって更新の回数がまちまちなので、それぞれの担当で必要に応じて更新回数を増やせるようにしたい。			
		A	A	A	・ホームページのリニューアルを行い、更新回数とアクセス数向上につながった。				